



「国防」をうたい
棄民亡国へ突き進む人々へ
島々から平和への
切なる祈りをこめて

三上智恵監督最新作

戦 いくさふむ 雲

監督:三上智恵 語り:山黒節子

プロデューサー:橋本佳子 木下繁貴 撮影:上江洲佑弥 編集:青木孝文 監督補:桃原英樹 CG:比嘉真人 イラスト:山内若菜 音楽:勝井祐二

製作協力:沖縄記録映画製作を応援する会 製作:DOCUMENTARY JAPAN 東風 三上智恵 配給:東風

2024 | 日本 | 132分 | DCP | ドキュメンタリー ©2024「戦雲」製作委員会

ikusafumu.jp

軍事要塞化する南西諸島。圧殺されるのは沖縄の声だけではない——
「標的の村」「沖縄スパイ戦史」三上智恵監督、渾身の最新レポート

本当の「国防」とは何か？ 圧殺されるのは沖縄の声だけではない

沖縄本島、与那国島、宮古島、石垣島、奄美大島——この美しい島々で、日米両政府の主導のもと急速な軍事要塞化が進行している。自衛隊ミサイル部隊の配備、弾薬庫の大増設、基地の地下化、そして全島民避難計画……。2022年には、「台湾有事」を想定した大規模な日米共同軍事演習「キーン・ソード23」と安保三文書の内容から、九州から南西諸島を主戦場とし、現地の人々の犠牲を事実上覚悟した防衛計画が露わになった。しかし、その真の恐ろしさを読み解き、報じるメディアはほとんどない。全国の空港・港湾の軍事拠点化・兵站基地化が進められていることをとればほとんどの日本人が知っているか。本当の「国防」とは何か。圧殺されるのは沖縄の声だけではない。

『標的の村』『沖縄スパイ戦史』 三上智恵監督

6年ぶり、渾身の最新作

本作は2015年から8年かけ沖縄・南西諸島をめぐり取材を続けてきた映画監督でジャーナリストの三上智恵による渾身の最新レポートである。タイトルは、山里節子さんが「また戦雲が湧き出してくるよ、恐ろしくて眠れない」と歌った石垣島の抒情詩とうばらーまの歌詞に由る。映画が映し出すのは、民意を置き去りにしたままなし崩し的に進む戦力配備の実態だけではない。過酷な歴史と豊かな自然に育まれた人々の暮らしや祭り——それらこそ、まやかしの「抑止力」の名のもとで今まさに蹂躪されようとしているかけがえのない何かであり、私たちの希望と祈りの源にほかならない。

沖縄本島

島々に配備されたミサイル基地統括本部がまもなく完成。民間の港が次々と軍事訓練に使われている。

石垣島

若者主導の住民投票運動は市政に潰され、ミサイル基地が島の真ん中にできた。

宮古島

集落の程近くにミサイル基地、射撃訓練場を備えた弾薬庫も完成した。

沖縄本島から約509km

与那国島

町に何も知らされないままミサイル基地建設が決まり、戦車やPAC3積載車が公道を走る島に。



今からでも遅くはない。
 共に目撃者になり、
 今という歴史を背負う
 当事者になってほしい。
 — 三上智恵

映画監督 / ジャーナリスト

最新刊情報

戦雲

要塞化する沖縄、
 島々の記録

三上智恵 著 | 集英社新書
 1,320円(税込) 発売中



ikusarumu.jp | mikami films | mikami films

【上映日】2025年4月8日(火) 10:30~

【会場】サルビアホール 3F 音楽ホール

◆入場無料 / 事前申込制 ※定員に達しない場合のみ当日参加可能

◆組合員でなくてもご鑑賞できます

【主催】生活協同組合パルシステム神奈川
 地域活動推進課

【E-Mail】palkana-heiwa@pal.or.jp



JR 京浜東北線・鶴見線

鶴見駅 東口から
 徒歩2分

京急本線
 京急鶴見駅 西口から
 徒歩2分

▼詳しくは
 こちら

